

小学校国語 第4～6学年

各学年共通した課題		読み取った情報を基に自分が考えたことや想像したことを書いたり、構成や書き表し方に着目して文章を整えたりすること(読んで書く力)	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
4	大問5の2㉔	○ 自分の考えとそれを支える理由を明確にして書き表し方を工夫する力	43.5
5	大問3の3㉓	○ 物語などの全体像を具体的に想像する力	43.5
6	大問6の2㉔	○ 構成や書き表し方に着目して、文章を整える力	66.1

復習のポイント

【4年生の皆さんへ】

○ 自分の考えとそれを支える理由を明確にするとは？

自分が考えたこと、なぜそのように考えたのかという「つながり」をはっきりさせるということです。

○ 考えと理由の「つながり」をはっきりさせるためには？

「なぜなら」、「～からです」などの書き表し方を使って、自分が考えたことに対して、なぜそのように考えたのかを示しましょう。

○ 力を付けるために

平成29年度全国学力・学習状況調査 B2の三を活用して、自分がそう考えた理由について、「なぜなら」、「その理由は」、「～から」、「～ため」という言葉を使って書いてみましょう。

★チャレンジ★ 森さんたちは、緑のカーテンを作ったことのある中学生からの【アドバイス】をもとに、【緑のカーテン作りへの協力のお願ひ】の.....の中を書いています。次の.....の中の□に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。



【構成】水やりに協力してくれる人をば集める意図が伝わるよう、「水やりが大変な理由」を【アドバイス】から二つ取り上げて書きましょう。

【書き表し方】理由を明確にするために「～から」などの書き表し方の工夫をしましょう。また、お願ひの文章にふさわしい文末表現にも気を付けて書きましょう。

※正答例は、本紙の一番下に示しました。「★チャレンジ★」が終わったら確認してみましょう。



調査問題はこちらから



【5年生の皆さんへ】

○ 物語などの全体像とは？

設定をもとに、その物語全体や人物像などを豊かに想像してとらえたイメージのことです。

○ 物語などの全体像を具体的に想像するためには？

「何が」「どのように」えがかれているかということや、場面の移り変わりをとらえることを意識して、読むようにしましょう。

○ 力を付けるために

複数のびょう写を手がかりに、登場人物の行動の理由やできごとの具体的な様子などに着目して、作品を推せんする文を書いて、内容をより理解しましょう。

【6年生の皆さんへ】

○ 構成や書き表し方とは？

構成とは、まとまりのあるものに組み立てることです。「考えと理由」、「原因と結果」、「ぎ問と解決」などのつながりを意識して、文章全体の筋道を整えていくことが大切です。

○ 構成や書き表し方に着目して文章を整えるためには？

「だれに」「何のために」書いたのかを確かめて、それらの目的が達成されるように、「考えと理由や事例」などのつながりや表し方をすいこうしましょう。

○ 力を付けるために

「構成」や「考えと事実を区別して伝えるための文末表現」の書き表し方を整えましょう。文章を読み直し、自分の伝えたいことが十分に書き表されているかどうかを確かめましょう。

★チャレンジ★の正答例

(なぜなら) 毎日本水をやらないといけなし、大きな緑のカーテンを作るために、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるからです。